



2016年5月

居住者の皆様へ

# Asahi Monthly Report

## 〔地震・火災・災害時の対応〕

### 地震時の対応

- ① ガスの元栓や火の元を目視、電気のブレーカーを切る事。
- ② 留守にする場合は避難先や安否確認情報を分かる様にする事。
- ③ 動きやすい安全な服装を着用する事。
- ④ 常に両手が使えるように確保し荷物はリュックなどに入れ背負う事。
- ⑤ 障害者やお年寄りや子供がいる場合は絶対に避難地まで手を離さない事。
- ⑥ 必ず徒歩で避難する。
- ⑦ 車は、緊急車両の通行の妨げや逆にジャマになったりする。
- ⑧ 必ず指定された避難場所、避難所に行く事。
- ⑨ 津波の場合は想定外なので高台避難地へ。
- ⑩ 路地、塀ぎわ、崖や川べりは歩かない事。
- ⑪ 避難通路では落下の看板やガラスに注意して歩く事。



### 火災時の対応

火災訓練を常に実施することは難しいかと存じますが、以下の情報を頭の中に入れておくだけで火災が起きたときに違いがあるはず。是非参考にしてみてください。

- ① 周りに知らせる。
- ② 逃げるか消すかを瞬時に判断する。
- ③ 煙を吸い込まないように姿勢を低く保つ。
- ④ 119番に通報する。

### 災害時の対応

地震などの大規模災害の発生時には必ず、安否確認、見舞い、問い合わせなどの電話が爆発的に増加し、電話がつながりにくい状況（電話ふくそう）が数日間続きます。このような状況に対応するため次のサービスが有効な手段となります。

#### ●災害用伝言ダイヤル「171」

NTTでは、災害時に一般電話、公衆電話、携帯電話（一部除く）などで、「音声」による安否確認ができる災害用伝言ダイヤル「171」を提供。震度6弱以上の地震が発生した場合や地震、噴火、水害などの災害によりネットワークがふくそうしてきた場合にサービスを提供します。サービス開始はNTTの電話ガイダンス、TVなどマスコミを通じて通知します。

録音：171+1+ [相手の電話番号]

再生：171+2+ [相手の電話番号]